

企業情報の流出について

このたび、立地計画認定企業に対するフォローアップ訪問に際して、事前に調査様式を送付すべきところ、誤って237社分の企業訪問記録を含むデータを添付して、2社にメール送信する事案が発生しました。

関係の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

【企業誘致のフォローアップ業務の概要】

- (1) 目的 立地計画認定企業を対象に、企業の支援ニーズを把握し、フォローアップにつなげることで、県内事業所の維持・拡大を図る。
- (2) 実施内容 年1回程度、企業を訪問し業況や要望等をヒアリング

1 事案の概要

訪問の連絡調整の際、誤って、過去の訪問記録データ（237社分）を添付したメールを県内の2社に送信

【A社への事案】

- ・8月26日 A社の担当者に、添付ファイルを誤ったメールを送信
- ・9月5日 フォローアップ訪問した際に、A社の担当者からの指摘により判明
その場でメール及びダウンロードされたデータを県職員立ち会いのもと削除
相手方から社内を含めた第三者への流出はないことを確認済み

【B社への事案】

- ・9月2日 B社の担当者に、添付ファイルを誤ったメールを送信後、すぐ誤りに気付いたため、県側でダウンロードデータの削除を実施
B社の担当者が添付ファイルのダウンロードをする前に削除し、外部に流出していないことを確認済み

2 流出した情報

- ・直近1回分のフォローアップ訪問時の記録データ（237社分）で、業況、売上、利益、主な取引先、採用人数、県等への要望などの企業情報

3 発生原因

- ・本来送信すべき添付ファイルと、誤送信したファイルを同じフォルダで保存・管理していたほか、ファイル名に共通点があったこと
- ・外部へのメールに添付するファイルを、送信前に複数の職員で確認すべきであるが、行っていなかったこと

4 情報が流出した企業への対応

- ・9月20日までに、情報流出した各企業へ、流出の経緯、流出した情報、再発防止策等について説明

5 再発防止策

- ・誤送信したファイルについて、専用フォルダを作成の上、秘匿情報であることが判別できるようファイル名を変更するとともに、パスワードを設定し厳重に管理する。
- ・外部へメールを送信する際に、複数の職員による添付ファイルの確認を徹底する。
- ・部内で改めて情報セキュリティに関する注意喚起や研修を実施する。
- ・企業情報をメール添付できないデータベースによる管理に改める。（令和7年4月予定）